

# 全酪連会報 11

2018 NOV No.638



～With MILK～

全国の酪農家による

「理解醸成活動」  
を開催

酪農とのかけはし／  
草柳朋さん

酪農部だより／  
全酪連ギフト商品について

酪政連活動報告

酪農トピックス／  
「第29回 ミルク祭り」開催！  
(北福岡工場) ほか

日本酪農見て歩紀／  
馬場牧場 北海道十勝清水町



[www.zenrakuren.or.jp/business/kobai/calftop/](http://www.zenrakuren.or.jp/business/kobai/calftop/)



全国酪農業協同組合連合会

# ～ With MILK ～

全国の酪農家による

## 「理解醸成活動」

### を開催

全国各地で  
順次開催中

今年で6回目！10月26日(金)千葉県千葉市「イオンモール幕張新都心」グラウンドモール1Fグラウンドコートにおいて、全国酪農青年女性会議(小森崇宏委員長以下、「全国酪農青女」という。)の協力のもと、消費者へ国産牛乳の安心・安全のPR、理解醸成活動を行いました。

この活動は、国の補助事業である生乳生産者需要確保事業の補助を受け、消費者へ酪農が置かれている状況、また酪農が果たす役割等について説明し、乳製品の消費定着化と酪農理解醸成を図る事を目的として活動を行っております。

当日は全国酪農青女、全酪連職員総勢26名で、おそろいの牛柄の法被を着用し、来場者にフリートートバッグ・チラシを配布しました。

また、牛乳に関するアンケートに記入していただきながら、酪農への理解、牛乳の機能性についてPRを行いました。

全国酪農青女小森委員長を始め、役員・委員の皆さんは「私たち酪農家は、皆さんに健康をお届けするため、毎日牛乳を搾っております。酪農が日本の栄養摂取や社会的に様々な役

割を担っている事について知って下さい！」と、マイクを使って強く訴えました。

その他、会場内では(一社)中央酪農会議、(一社)Jミルクの展示ブースを設けたり、酪農家の作業や牛乳の機能性をわかりやすく示したパネルや牛乳パックの展示、等身大の乳牛の模型で搾乳体験を行いました。また、酪農家の皆さんが来場者の皆さんに熱心に語りかけ、コミュニケーションを図られている姿がとても印象的でした。





# 酪農との かけはし



## 第16回 中央製乳株式会社 執行役員 兼 販売第1部 部長

酪農家が心をこめて  
生産した生乳を消費者の  
皆様に届けています。

執行役員 兼 販売第1部 部長

とも  
草柳 朋さん

年齢: 53歳  
お住まい: 愛知県豊川市 在住  
略歴: 愛知県 出身  
・2001年入社

配達員の契約社員として入社。地元のスーパーなどへ製品の配達業務に従事。  
・2002年3月26日 販売部販売課に正社員として正式に採用。  
・2004年3月26日 販売部 配送課長  
・2005年3月26日 販売部 次長 兼 配送課長  
・2006年3月26日 販売部 部長  
・2007年3月26日 執行役員 兼 販売部 部長  
・2015年 執行役員 兼 販売第1部 部長  
現在に至る。

仕事: 執行役員として会社の経営(管理、運営)に従事。学校給食(学乳)、市乳(発酵乳、プリン、清涼飲料水など)また配送課の業務である物流全般を受け持っている。

その職業に携わるまでの道のりや、やりがい

前職はこの業界と全く縁のない業種で雑貨、DIYの製造及び卸しに従事していました。そこでは管理職として「管理・運営・販売」を一手に担って働いていました。しかし36歳のときに転職できる最後の機会であると満を持して今の会社である中央製乳株式会社の門を叩きました。

前職で学んだノウハウを生かして数々の試みを業務に当てはめていきましました。



▲ 草柳執行役員 兼 販売第1部 部長

さらに社是にある「一円融合」が草柳氏の信念と一致して日頃から「会社仲間を大切にすること、この仕事に関するお客様も共に大切にすること。」

気持ちをいつも胸に刻んで仕事に従事している事が大きなやりがいです。

自身の仕事と酪農との関わり

「酪農と乳業は車の両輪である！」

「地元の牛乳は地元で消費をモットーに、安全でおいしい商品をお客様にお届けすることで、安心を提供する。」至極当たり前のように聞こえるこの言葉・

地元【JA愛知みなみ】はブランド牛である田原牛を世に送り出した農協です。実は田原牛を生産しているメンバーの半数以上は酪農家で乳

肉複合経営を特徴としています。そんなある日(2005年の事)JA愛知みなみ田原酪農部会女性部の皆様より「私たちの搾った牛乳が市場



▲ 中央製乳株式会社で製造している製品群



執行役員 兼 販売第1部 部長

草柳 朋さん

の

# 1日のタイムスケジュール

8:00 ▶	朝礼、ミーティング
9:00 ▶	執行役員として会社の管理、運営に従事。特に顧客の管理を行う。また終日 売上管理、従業員管理、アウトソース管理(物流会社)などにも従事。
12:00 ▶	お昼 休憩時間
13:00 ▶	配送課の業務に従事。受注、配送、物流の管理、出荷調整などを行う。
16:00 ▶	1日の業務の纏め。その他取り組みとして新製品の開発。毎月開発会議が行われる。それに向けての開発を行う。 ISO9001への取り組みとして 「QMSマニュアルの策定」 「顧客満足度を達成させるための仕組み構築」 「品質方針と品質目標の策定」 ・顧客重視(お客様満足) ・各部目標達成のための計画 ・開発、内部監査、マネジメントレビュー ・検証・改善
16:45 ▶	



▲ 学校に配られるのを待っている200mlパックの牛乳



▲ 愛知県の学校に供給されています

● どのよう販売されているのか  
「目に見える私たちのブランド牛乳がほしい！」そんな生産者の生の声を耳にしました。その声の実現に向け社内検討開始しました。すると様々な問題点が・  
● 生乳の受入れから個別タンク区分けが可能か？勿論合乳はできません。  
● 受け入れ後、殺菌、充填などの製造タイミングは？  
● はたして当社で発売後ブランド牛乳(高単価)として満足な販売が実現可能なのか？(発売したのは良いが継続できるのか？)  
● そのための販売先の確保はできるのか？

● 実際に買って頂く消費者へのアピールはどのように行うのか？  
● それでもやっぱり地元牛乳を地元で販売したい！地元の地産地消牛乳を発売しよう。  
● 製造部では生乳受け入れからタンク区分け、殺菌、充填のシミュレーション実施(仕組み変更必要だが可能と判断できました)。  
● 販売部では地域のスーパーや飲食店等に採用の可能性を聞き取り調査(ただし売価は1本200円以上(当時))。意外にも？好感触でした。(そういう牛乳も地元で必要だよ〜)と。地元スーパーの売り場確保できそうだし！  
● すべての問題が解決したわけではありませんが光が差してきました。

● そこで発売に向けての活動として、デザイン案(JA愛知みなみにて案を作成してもらいました)  
● 名前は【どうまい牛乳】渥美半島・田原市の酪農家の牛乳で「どうまい」は三河地方で「すごくおいしい」を意味します。  
● いよいよ発売準備が整いました。2007年6月発売開始を目標としました。当初は1ヶ月で20,000本(1本=1,000ml)を目標に掲げました。販売を開始してすぐに目標を大きく上回り、同年には1ヶ月で30,000本を達成しました。販売開始から11年経った今ではすっかり愛知県の定番商品となり1ヶ月に50,000本を販売する



▲ 工場見学コースに掲げられている特大ポスター

までに成長しました。これもひとえに酪農家の皆さんの努力であり、地元消費者の応援があるからこそそこから感じていきます。

それ以外にも豊橋市の酪農家限定の「のんほい牛乳」も消費者にお届けしています。

「のんほい」は三河弁で「ねえねえ、ちよつとちよつと」の意味で牛乳では「ねえねえ、おいしいでしょ？」という意味になります。

**酪農の魅力とは？**

草柳氏は酪農家とのコミュニケーションが非常に好きとの事です。ご主人たちには明るい方が多く、仕事と一緒に活動をしていて酪農に対するひたむきさをひしひしと感じ、力を頂いているそうです。

また営業マンとして本業である乳業のことは勿論、共に関わっている酪農家の喜びも苦しみも分かっているのが強みと仰っていました。

毎年12月にはJA愛知みなみの職員、田原酪農部会の役員と草柳氏で県内の販売店、小売店、スーパーなどに精力的に挨拶など活動を行っています。農協など各種企画にも積極的に参加しています。

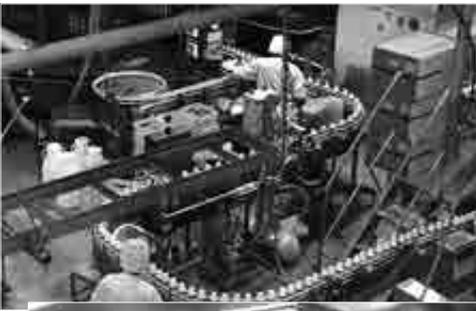
**酪農に望むこと**

生乳を供給して頂いている酪農家へ出来る限り長く継続して欲しいと切に願っています。「どうまい牛乳」が1ヶ月100,000本達成するまで一緒にやっていきたいと思っています。

▼ 第5工場外観 平成27年9月に稼働開始しました



▼ 工場内部 瓶詰めめの製品も取扱っています



▲ 敷地内には東海酪連三河ミルクステーションがあります



▲ 作業所内では従業員の皆さんが作業をしていました

**中央製乳株式会社 会社概況**

- 商号 中央製乳株式会社
- 所在地 愛知県豊橋市植田町字八尻 12 番地  
TEL 0532-25-1157 (代表)  
FAX 0532-25-5245
- 代表者 代表取締役社長 川澄 宏匡
- 創立年月日 1937年(昭和12年)10月18日
- 資本金 1億3,300万円
- 株式の状況  
 会社が発行する株式総数 3,000,000株  
 発行済株式数 2,660,000株  
 株主数 359名
- 社是 『一元融合』  
当社だけでなく、関係者の皆様と心を一つにして物事に当たることにより、ともに繁栄していくこと。
- 社訓 『CHUO spirit (精神)』  
C.(Creative) H.(Honest) U.(United) O.(Organization)  
創造的で／誠実な／心を一つにした組織
- モットー 『地産地消』  
地元の牛乳は地元で消費
- 牛乳処理量 111t/日 (2017年)

**全国の酪農家に**



毎日心を入れて生乳を供給して頂きありがとうございます。

【酪農と乳業は車の両輪である！】中央製乳株式会社の社是にある「一元融合」のように当社だけでなく、関係者の皆様と心を一つにして物事に当たることにより、共に繁栄していくことが大事

であると私共酪農に関わる者として皆様にお伝えしたいと思っています。

これからも安心・安全を確保し、地域のお客様に喜んでいただけるようより良い製品を製造販売してまいります。

# 見て歩紀

No. 306

馬場牧場  
北海道十勝清水町

## シンプルな管理で 強い牛作りにこだわる



▲馬場一彦さん

今回訪問しました馬場牧場は、十

勝平野の西部に位置する上川郡十勝清水町にあります。所属する十勝清水町農業協同組合（串田雅樹代表理事組合長）は、酪農家戸数112戸、年間出荷乳量は12.2万t（いずれも平成29年度末時点）となっています。

### 牧場の概要

馬場牧場は現在、お話を伺った経営主の一彦さん、奥様の里美さん、息子の直樹さんの3名で350頭の育成牛を飼養し、その大半を全酪連販売預託事業で受け入れています。草地35ha、コーン20haによる豊富な粗飼料と放牧も利用した十分な運動で丈夫な牛を作る、と定評のある牧場です。

もともとは畑作をメインに搾乳も行っていましたがお父様の代で搾乳を中止し、一彦さんの酪農学園への進学と同時期に育成牛の飼養を始



▲本場の牛舎

めました。大学卒業後に新しく育成用の牛舎を2棟新設して規模を拡大された頃、農協担当者からの勧めもあり本会販売預託事業の受入を始めたそうです。当時は搾乳農家が育成事業を行っていることがほとんどで、育成専門農家としては道内でも先駆けでした。その後35歳のときに



北海道十勝清水町

お父様から経営を譲り受け、初めての上牧は3頭から始まりました。8年ほど前に直樹さんの就農が決まったこともあり、さらに牛舎を2棟新設し、現在の頭数となりました。ちょうどその頃は現在と同様に初妊牛価格の高騰（当時大台と言われていた50万円台）により都府県で自家育成をする動きが高まっていた時期でした。そのため本会預託事業への要望が増加しており、馬場牧場が受入頭数を増やしてくださったことは本会にとっても大変ありがたいものでした。

### シンプル且つ効率的な管理

預託牛の上牧は平均月1車行われます。上牧された育成牛は患畜を除き授精適期になるまでは本場とは離れた場所にある第二牧場で群管理され、13ヶ月になると馬場牧場本場の授精牛舎に入り、牛の状態を見ながら一部は町営牧場の夏季放牧に出します。受胎後は別の棟に移動させ、採食と運動による分娩に向けた体を作ります。牛床の麦稈は10〜14日ごとに全量交換し、パドックは蹄のために土にしています。馬場牧場では蹄病の発生は極めて低いということ



▲ 飼槽には豊富な粗飼料がある

でした。

次に繁殖管理について、本会預託牧場の中でも上位の繁殖成績をもつ馬場牧場ですが、その方法はとてもシンプルです。授精適期の13ヶ月を迎えた牛は体の大きさに関わらず1棟の牛舎で管理します。そのうえで、最初の発情発見は一彦さんの長年培った目を使います。ご本人いわく、朝まだ牛に餌を与える前に授精予定牛の居る牛舎を1往復し、牛の行動を観察する、これだけだそうです。その中で発情兆候のある牛、前回周期から発情予定にあたる牛をピツ

クアップして授精師に診てもらいます。また、長年の勘から「怪しいかな、そろそろかな？」という牛については、はつきりとした兆候がなくても積極的に授精師に診せるようにしており、日頃から発情の見逃しがないよう心掛けています。さらに14ヶ月齢を過ぎて発情が来ない牛には状態に合わせて治療を行うようにしています。月齢で群分けすることで牛群管理を省力化し、その分授精牛群を重点的に観察することで高い繁殖成績を誇っています。限られた労働力と時間の中で、効率的な管理を実践していることが伺えました。

馬場牧場にとって、繁殖技術・成績は育成農家として大切なことです。しかしそれ以上に重要なことは「牛の出来栄え」なのだそうです。

### こだわりの牛作り

馬場牧場では、「搾り出してから活躍する」牛作りを心掛けています。北海道から本州へ戻り、搾り出してからが乳牛の仕事。輸送、分娩、搾乳と言った預託終了後のストレスにより痩せてしまうと餌の食えない牛になってしまいます。そのため馬場牧場では努めてしっかりとした牛

を仕上げるようにしています。以前は下牧した牛に対してオーバーコンディションと言われたこともあったようですが、今ではその後の成績の良さから「馬場牧場の牛」として評価されるようになり、リピーターも多くなっています。一彦さんも自家牛へのこだわりから「痩せさせてくれ」という希望は受け付けられないよ、ときっぱりおっしゃっていました。

そんな馬場牧場の牛は、豊富な粗飼料によって作られます。朝晩の餌やりでは古い餌をすべて捨てて





▲牛舎につながるパドック(右奥)

新しいものにする、飼槽に常に草がある状態を保つ、という2点を徹底し、夏場は乾草とトップサイレージ、冬場はさらにコーンサイレージとグラスサイレージをミックスした餌を飽食させて、さらに育成牛の状態や、その年の草の状態に合わせて濃厚飼料の量を調整して与えています。経験やセンスで管理をされているように思えますが、一方で一彦さんは定期的に市場や道内の牧場の視察に出かけ、情報を仕入れたり、自身の牛群を振り返ることも欠かしません。特に体型が似ていると思う牧場は比較

対象として定期的に訪問し、さらに良い牛作りを勉強しておられます。

### 相手と話をすること

預託農家は特に顧客との信頼関係が大切になります。丈夫で搾れる牛を作ることはもちろんですが、遠く離れた依頼主との信頼関係を築くために一彦さんが心掛けていることを伺うと、追跡調査、そして懇親会ということでした。現地に赴き、依頼主の話や要望を聞く、また預託上牧前の牛をみて、育成管理にあたっての改善点を一彦さんのほうから指摘することもあるそうです。そのような情報のやり取りに加えて、懇親会で腹を割ってゆつくり話をする、そのうえで預かった牛を良い牛に仕上げて戻す、これらの繰り返しが大切と考えています。

### 今後について

まだまだお若く見える一彦さんですが、体力が落ちてきてよお・・と嘆いていらつしゃいました。これからのことを伺うと、自分の代では粗飼料の限界もあるのでこれ以上拡大するつもりはない、とのことでした。「直樹が牧場を大きくしたいのであ



▲牛群を確認する馬場さん(右)と本会畜産担当橋職員(左)

れば自分でやればよいと思っっているし、そうなったら動けるうちは手伝わないとなあ。直樹はまだまだ勉強中。でも今があるから、自分でやり出したときには面白さも大変さもよくわかるだろうよ。」と温かく見守っている様子が見受けられました。一彦さん自身もお父様から引き継いだ際は苦労されたそうですが、30年に渡って本会の預託牧場として多くの牛を受け入れ続けてきてくださいました。

最後に、単刀直入に本会預託事業のメリットを聞いてみたところ、「市場に左右されない安定収入」ときつ

ぱり答えてくださいました。ただそれだけじゃ育成農家の「面白味」に欠ける、だから少しだけ市場用の牛も所有しているんだ、と笑って言われました。預託農家として素晴らしい牛を作ってくださいる一方で、育成農家としての面白味、やりがいも忘れず、仕事を楽しんでおられる姿が印象的でした。

この度の取材を通じて、今後も馬場牧場で育った力強い牛たちが全国で活躍することと確信致しました。大変お忙しい中、快く取材をお引き受けくださり誠にありがとうございました。

### 預託事業概要

本会会員組合を通じて、都府県酪農家の育成牛を北海道の受入農家で育て、初妊牛としてまた元の酪農家へ戻します。当事業は受入農家が都府県酪農家から子牛を『買って』、仕上げた初妊牛を元の酪農家へ『売る』という『買い取り買い戻し方式』を採用しており、これにより様々なメリットがあります。ここ数年の初妊牛価格の高騰などから多くの要望をいただいております、受入牧場も募集しております。詳細につきましては本会ホームページをご覧ください。最寄の支所畜産課までお問い合わせください。

北福岡  
工場発

「第29回 ミルク祭り」開催！

去る9月23日(日)、北福岡工場（岩手県二戸市）にて「第29回 ミルク祭り」が開催されました。長年「ミルク祭り」は、地域の皆様からご愛顧いただいておりますが、平成26年以来、実に4年振りの開催となります。

祭りは、酪農部の佐藤部長、仙台支所の白鳥支所長、岡本工場長によるテープカットで開幕となり、主催者を代表して本会工藤監事（岩手中央酪農業協同組合長）、佐藤部長の挨拶、そして、来賓の二戸市長には祝辞をいただきました。

広場では本会のチーズや奥中山高原農協乳業(株)の

牛乳・乳飲料の即売場が設けられた他、金魚すくい・くじ引き等のお祭りならではのコーナーにちびっこ達は大喜びでした。

また、ソフトクリーム・フランクフルト・チュロスを用意し、特に北福岡工場で作られたバターと北海道産じゃがいもを使った「じゃがバター」は大好評で蒸すのが追い付かないほどでした。

この他、岩手県民謡保存会による民謡実演、手作りバター体験やゴータチーズのカット実演、牛乳早飲み競争、キャップ投げ大会といった催事、恒例となった最後の大会抽選会では、当選番号の発表のたびに大きな歓声に包まれました。

当日は、好天にも恵まれ、仙台支所からの応援を含め従業員総出で祭りを盛り上げ、ミルク祭りは成功の内に終了しました。

これからも、北福岡工場は地域の皆様への感謝を忘れず、地元・二戸市に根ざし、市民に愛される工場を目指します。  
(C.A)



▲ 工藤監事



▲ 佐藤部長



▲ チーズカット



▲ 抽選会



◀ 祭り風景



▲ 牛乳早飲み



札幌  
支所発

## 北海道酪農青年女性会議、「秋季研修会」を開催

北海道酪農青年女性会議は10月15日(月)秋季研修会を開催し、よつ葉乳業(株)十勝主管工場を視察しました。当工場は9月に発生した北海道胆振東部地震による大規模停電の際にも自家発電により稼働を続けた工場です。常時1割の電気を自家発電でまかない、発電機を稼働させているということでした。なんと見学途中に数秒間の停電となるアクシデントがありましたが、ストップしたラインの製品の処理、対応など普段では見学できない過程

を見ることができ、いかに厳格な体制のもとで牛乳乳製品が製造されているかをより体感することができました。

視察後の懇親会には、7月に開催された第47回全国酪農青年女性酪農発表大会において北海道代表として発表した佐藤伸哉さん、砂子田円佳さんも参加されました。全国会議の半澤顧問も駆けつけ、皆で発表者の大仕事を労い、終始リラックスした和やかな会となりました。(T.H)

東京  
支所発

## 第8回 東京支所管内「会員女性職員研修会」開催

去る9月18日(火)19日(水)に、東京支所管内「会員女性職員研修会」を開催しました。

18日(火)は全酪連会議室にて輸入粗飼料とTMR製品の特長、実際にTMRを使用している牧場の概要などの講義が行われ、その後は東京食肉市場(株)に伺い屠場に運ばれてきた牛・豚を枝肉にすると畜解体作業や枝肉の格付、市場取引の流れなどを展示物とビデオを見ながら勉強しました。

夜は懇親会を行いました。過去の研修会の思い出話や、皆様の日常業務のお話、趣味のお話などで盛り上がり、直接お会いする機会は少ない会員女性職員の方々ではありますが、大いに親睦を深められる機会となりました。

19日(水)は全酪連那須青木センターにて、研修を行いました。このTMRセンターは2棟(原料保管棟と製品保管棟)の施設の高低差を利用することによって作業の単純化・脱電力化を図っています。また、ライン設備をなくすことによってメンテナンス箇所を極力削減した

構造となっており、実際に

▲ 高低差を利用した那須青木TMRセンター設備現場を見学しながらTMR製品の製造から出荷までを学ぶことによって、このTMRセンターの特徴を分かりやすく理解することができました。今後の展望などのお話も聞くことができました。

お忙しい中、遠方よりご参加いただきました会員職員の皆様に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。(U.N)



▲ 集合写真

福岡  
支所発「平成30年度 長崎県牛乳・乳製品利用料理コンクール」  
開催される

平成30年10月13日(土)、長崎県諫早市小野ふれあい会館において、長崎県酪農業協同組合連合会（中村隆馬代表理事長）主催の「平成30年度 長崎県牛乳・乳製品利用料理コンクール」が開催されました。

当日は、応募作品数357点の中から書類審査で選ばれた10点が本選に出場、1時間という制限時間内で仕上げられた料理の出来栄が競われました。中村会長から「今年も数多くの応募を頂きとても感謝しております。最近牛乳の効能がマスコミなどで報道されるなど注目を浴びていますが、今年は全国各地で災害が相次ぎ、近頃では牛乳が売り場で不足する状況が続いております。我々酪農家も皆さんの期待に応えられるようしっかり搾っていきますので、これからも牛乳・乳製品を消費し応援し続けて頂けるようお願いいたします。日本は飽食の時代と言われてもう随分と経ちます。しかし、食は人をつくり、人と人をつなぐどれも大切なものです。皆さんにも料理を通じ、大切な人に

食を届けていってほしいと思います。」との主催者挨拶に続き、早速料理が始まりました。

今回選抜された代表者は高校生7名、専門学校生2名、主婦1名と全て長崎県在住の方で、いずれも手際よく料理は仕上げられ、丁寧で美しい盛り付けには、審査員も感心するばかりでした。そして、おいしさは勿論、栄養のバランス、独創性などの観点から審査の結果、牛乳との組み合わせが身体に良いとされる山芋と小松菜、塩昆布を使い風味豊かに仕上げた、九州調理師専門学校生の平田咲稀さんの作品「栄養満点フワフワ山芋グラタン」が最優秀賞を受賞しました。どの作品も素晴らしく、おいしい料理ばかりで審査員の試食会は今年も完食となりました。

牛乳・乳製品は更に工夫次第でまだまだ様々な可能性と価値が秘められていると感じさせられました。

(M.A)



▲ 出品者と受賞者の皆さん



▲ 出品者による審査員への料理説明では皆さん緊張した面持ち



▲ 最優秀賞に輝いた「栄養満点 フワフワ山芋グラタン」と受賞者の平田咲稀さん

## 本所発

## 山陽乳業株式会社への目録贈呈

本会が事務を受託しています全国農協乳業協会（会長 橋本光宏）は、平成30年7月豪雨にて甚大な被害を受けた山陽乳業株式会社（全国農協乳業協会会員、本会準会員）に対する義援金募集を会員に呼びかけました。8月末日期限までに本会をはじめ、協会会員等から多額のご厚志が寄せられました。

10月25日(木)に橋本協会会長から山陽乳業株式会社砂内修治社長へ義援金目録を贈呈致しました。

橋本協会会長は、「多くの仲間の厚情をお渡しする事が出来て大変嬉しい事です。山陽乳業さんの着実で、迅速な復旧に驚いています。ひとえに社長はじめ役職員一丸となった結果だと思えます。一日も早い完全復旧を期待したいと思えます。」と激励致しました。

砂内社長は、「大変ありがたい事です。学校給食用牛乳を11月5日(月)からの供給が決定し、他の製品も順次供給できる見込み迄にこぎつけることが出来ました。ご支援いただいている皆様に改めて感謝いたします。今後も一日も早い復旧に努めたい。」と話されました。（O.T）



▲ 左:橋本会長 右:砂内社長

## 酪政連活動報告

日本酪農  
政治連盟

平成30年9月～10月

10/4

枝元生産局長、富田畜産部長へ、緊急要請を実施  
「頻発する自然災害に対する緊急要請、  
及び日米間物品貿易協定(TAG)に関する緊急要請」



▲ 枝元生産局長への要請書手渡し



▲ 富田畜産部長への要請書手渡し

三役会議を開催(於:全理連ビル)

- 全国酪農民大会(仮称:家族型酪農経営危機突破総決起大会)について、を協議

10/10

中央委員会を開催(於:自由民主会館)

- 全国酪農民大会の開催について
- 緊急要請についてを協議
- 会議終了後、各ブロックにて、要請活動を実施

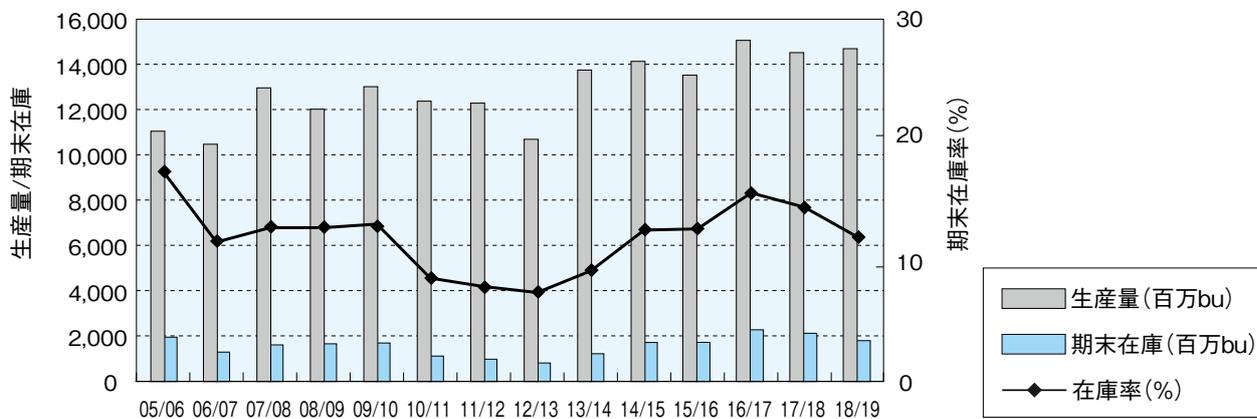


▲ 大槻委員長の挨拶

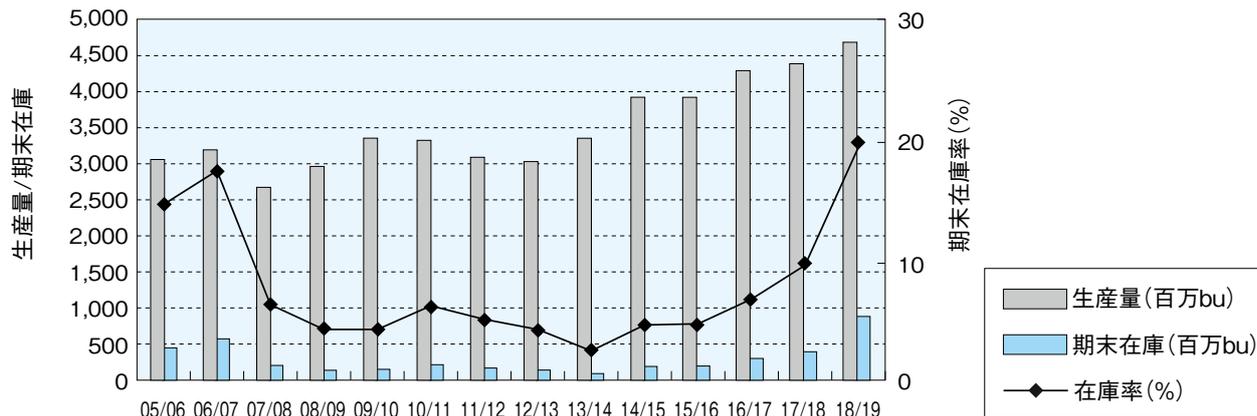


		17/18年産	18/19年産
10月11日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	作付面積(百万エーカー)	90.2	89.1
	単 収(ブッシェル/エーカー)	176.6	180.7
	生産量(ブッシェル)	146億400万	147億7,800万
	需要量(ブッシェル)	147億9,300万	151億5,500万
	期末在庫(ブッシェル)	21億4,000万	18億1,300万
	在庫率	14.5%	12.0%
トウモロコシ 相場動向	18/19年産トウモロコシ相場は先月同時期と比べ、20セントほど上昇している。主な要因は①降雨による収穫遅れの懸念②堅調な輸出成約高③需給報告における単収の下方修正の3点である。降雨による影響は、今後乾燥気候の予報が出ており、徐々に懸念が後退していく見込みになっているが、一部地域で初雪が見られるなど気温低下による霜害が心配される。今後は、こういった天候や輸出成約高、また引き続き貿易戦争関連の情報に左右される相場になると思われる。		
大豆粕相場動向	米中貿易摩擦問題は長期化の様相を呈しており、中国は米国産大豆でなく南米産大豆を買い付けている。中国産大豆粕は依然として高止まりしており、今後輸入品は中国以外の産地の大豆粕が入ってくると見られている。ブラジル・アルゼンチンは中国からの需要に対応するため大豆の作付けを早めている。		
槽糖類	【一般フスマ】 先月に引き続きふすまは需給がかなりタイトとなっており、各製品メーカーは供給数量の調整を余儀なくされている。同様に小麦粉も需給がタイトになっており、しばらくこの状況は続くと思われる。		
	【グルテンフィード】 中国産が高止まりしているため国産のグルテンフィードの引き合いが強まっている。需給は引き締まっており、今後国内で発生量が少なくなっていく時期になるため注意が必要である。		
海上運賃	パナマックス型市況は、原油の高騰を背景に底堅く推移している。新規造船が見込まれないため需給も引き締め、備船料も堅調に推移している。今後も堅調に推移していくと思われる。		

### 米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



### 米国産大豆生産量と期末在庫の推移





# 輸入粗飼料の情勢

平成30年10月

北米コンテナ船 フレート	ロサンゼルス/ロングビーチ港におけるピアバス制度は、現在、港周辺の混雑を緩和するため日中のみ港への搬出入時に課金される仕組みですが、新制度では終日適用されることとなります。新制度の導入は当初予定から延期され10月1日施行の見込みでしたが、さらに延期されることになっています。新制度の開始時期は今のところ未定ですが、施行された際は輸出業者のコストアップは不可避と見られ、品代に転嫁されると思われます。
北海道胆振東部 地震・台風21号 神戸港高潮被害 の影響	北海道胆振東部地震の影響で、苫小牧港では一時的な停電、断水および液状化現象により短期間ではありますが港湾施設が閉鎖となりました。この影響で、フィーダー船が苫小牧港に着岸できず入船スケジュールは一時混乱しました。現在は寄港できる状況となっていますが、本船は度々遅延しています。 神戸港では、関西地方を襲った台風21号の高潮被害により、未だに一部のターミナルでは本船が着岸できず、復旧は完了していません。現在は神戸港内の他のターミナルを代替として順次着岸していますが、代替ターミナルの許容量を超えているため、植物検疫が間に合わず通関作業が遅れるケースが散見されます。台風21号襲来前に、コンテナヤードに蔵置していた多くのコンテナでは、高潮や強風によりコンテナ内への海水の浸水被害が確認されています。浸水した海水を吸い込んだことで搬出可能な総重量を超えたコンテナも出ています。このように、港で在庫していたコンテナに大量のダメージが発生したうえ、台風後の入船や通関も不安定なことから神戸港全体で品薄感が広がっています。現在、不足分については名古屋及び博多からの陸送で賄っている状況です。
ビートパルプ	【米国産】新穀の収穫はミネソタ州及びノースダコタ州を皮切りに8月中旬からスタートしています。今のところ、各地の収穫は順調に進んでいる模様です。収穫が予定される面積は前年比19,000エーカーほど減少する見込みですが、一部の地域を除き、単収、糖度ともに非常に高く、全体としては良好なスタートを切っています。新穀の需要は堅調で、特にヨーロッパから旺盛な引き合いが来ています。ヨーロッパの早魃によるビートを含む飼料や牧草の減産がビートパルプの相場を支える構図となっています。後述の中国の情勢を除いても世界的な需要は堅調なため、新穀の価格は旧穀と比べ大幅に上昇しました。
アルファルファ	【ワシントン州】主産地コロンビアベースンでは3番刈の収穫作業が終了し、4番刈の収穫も終盤を迎えています。産地相場については、米中貿易摩擦の影響による中国向けアルファルファの輸出量の鈍化および山火事の影響による品質低下により、上級品以外はやや軟化傾向にあります。
	【オレゴン州】南部クラマスフォールズでは3番刈の収穫が終了し、4番刈も例年並みのスケジュールで進捗しています。3番刈は、2番刈に続いて収穫期の天候に恵まれたことから特に品質面での問題なく、良品が多く発生しているようです。産地相場については、米国内酪農家や馬向けの需要が引き続き強く、昨年の同時期よりも高値で推移しています。中部クリスマスバレーでは3番刈の生産は終了しています。当地の3番刈も収穫期に大きな問題は発生しておらず、品質は例年並みのようです。産地相場については、米国内酪農家および韓国からの引き合いが強く、引き続き高値のまま推移しています。
	【カリフォルニア州】中国からの需要は米中貿易摩擦の影響で鈍化しています。米国農務省のアルファルファ乾草の輸出統計では、7月の中国向けアルファルファ乾草の輸出量は前年同月比85%となっており、需要が減退していることが伺えます。しかしながら、サウジアラビアからの需要は引き続き旺盛であり、米国内酪農家からも定期的な買付は続いているため、産地相場は堅調に推移しています。
チモシー	【米国産】主産地コロンビアベースンおよびエレンズバーグでは2番刈の収穫は終了しています。2番刈の品質については、収穫初期に産地周辺で発生した山火事による煙の影響で、茶葉の混入割合が目立つものが多く、煙が引くのを待って収穫した圃場では、刈り遅れ傾向にあります。産地相場は、発生量が少なく輸出向け需要が強い上級品は昨年と同等レベルの高値で推移しています。一方、発生量が多い中～低級品の相場は新穀のスタート当初に比べて大きな変化はありません。
	【カナダ産】南部レスブリッジ地区では、2番刈の収穫までほぼ終了しています。1番刈の品質面は、収穫期の天候に恵まれたことから、上級品の発生が半数以上を占めています。単収については例年並みで、生産量全体は例年並みと見込まれます。韓国からの引き合いは引き続き強く、また、米国産チモシーの作柄から日本からの引き合いも上級品を中心に増えているようです。このため、産地相場は旧穀価格に比べ大幅に上昇しています。中部クレモナ地区では新穀の収穫は終了しています。当地では収穫初期の天候が不安定であったことから、上級品の発生は非常に限られており、中～低級品の発生が中心となっています。単収については、生育期の5～6月の降水量が例年よりも少なかったことから例年の半分以下となっています。産地では生産量が例年よりも少ない中、各サプライヤーが強い引き合いを背景に積極的に買付を行っています。このため、産地相場はレスブリッジ地区同様、昨年に比べ大幅に上昇しています。
スーダングラス	9月15日付の作付面積は前年同月比112%となっています。18年産スーダンの生産も残すところわずかとなり、今後収穫されるものについては主に米国内肥育牛向けの低級品の発生が中心となります。テキサス州およびコロラド州の早魃の影響から産地周辺では、自給粗飼料が不足しており、代替として肥育農家や酪農家からスーダンの低級品への引き合いが強く、産地相場を下支えています。
クレイングラス	<b>クレインは全酪連の登録商標です。</b> 9月15日付のクレイングラスの作付面積は前年同月比119%となっています。好調な産地相場を背景に、新播の作付も昨年に引き続き順調に進んでいるようです。クレイングラスの収穫は5-6番刈まで進んでいます。産地では日本および韓国からの需要は引き続き堅調で、新穀の収穫が終盤を迎え生産量全体が見えていく中、旺盛な需要に応えたい各サプライヤーの買付意欲は増しており、産地価格はここに来てさらに上昇しています。
ストロー類	主産地ウィラメットバレーでは18年産ストロー類の生産は終了しています。収穫期の天候に恵まれたことから品質面では大きな問題は発生していません。今年の韓国の自給粗飼料は昨年ほど良好ではない模様で、ストロー類を含めたイネ科牧草全般の引き合いが強まってきているようです。産地相場については、今のところ大きな変動は見られませんが需要増が見込まれる中、今後注視が必要な状況です。
オーツハイ	【蒙州産】蒙州では9月下旬より各産地で順次オーツハイの収穫作業が始まっています。西蒙州では、生育期に十分量の降雨があったことから生育も順調で、生産量は例年並みかそれ以上と見込まれています。南蒙州では地域によって生育期の降水量に差があり、順調に生育している地域と早魃傾向の地域が混在しています。このため現状では、南蒙州全体として例年の8割程の生産量になるものと見込まれています。東蒙州では早魃に見舞われています。生育期を通して降水量が少なく、生育が不十分で、一部では全く生育せず枯死する圃場も見られます。このため、東蒙州の生産量は例年の半分程度に落ち込むと見込まれています。蒙州国内の自給粗飼料が不足していることからオーツハイへの引き合いがグレード・品質を問わず強まっており、産地相場は昨年同期比および今春の相場と比較して大幅に上昇しています。蒙州国内のオーツハイの在庫量が少なく、新穀の生産量の減少も予想されることから、新穀の価格についても高騰しています。さらには、先々の値上げ観測から、残り少ない在庫への引き合いが加速し、堅調な相場形成に拍車をかけている状況です。



### りんごのお菓子ギフト

税込 **3,480 円** (本体 3,223 円)

- 森ショコラ 2 本
  - いのちりんご 6 個
  - パティシエのりんごスティック 4 本
  - (アレルギー物質) 卵/乳/小麦/大豆/りんご
- お取扱期間 18/11/15 ~ 12/28



3種類りんごのお菓子を詰め合わせました。

【製造者】株式会社ラグノオささき (青森県弘前市)



### セレクトチーズケーキ

税込 **3,600 円** (本体 3,334 円)

- 半熟チーズ 12 個
  - チーズブリュレ 8 個
  - (アレルギー物質) 卵/乳/小麦/大豆/ゼラチン
- お取扱期間 18/11/15 ~ 12/28



ふんわりソフトでクリーミーなスフレタイプの半熟チーズと濃厚なスティックタイプのチーズデザートの組み合わせです。

【製造者】株式会社ラグノオささき (青森県弘前市)



### 酪王アイスギフト 12 個セット

税込 **4,860 円** (本体 4,500 円)

- 酪王カフェオレ 120ml × 4 個
  - 酪王いちごオレ 120ml × 4 個
  - 酪王牛乳 120ml × 4 個
  - (アレルギー物質) 乳
- お取扱期間 18/11/15 ~ 12/28  
19/1/11 ~ 1/19



酪王カフェオレアイスクリーム、酪王いちごオレアイスクリーム、酪王牛乳アイスクリームが 4 個ずつ入ったアイスギフトセットになります。

【製造者】酪王乳業株式会社 (福島県郡山市)



### 奥中山アイス S セット

税込 **4,374 円** (本体 4,050 円)

- バニラ 130ml × 2 個
  - ブドウ 130ml × 2 個
  - 洋なし 130ml × 2 個
  - イチゴ 130ml × 2 個
  - (アレルギー物質) 乳/卵
- お取扱期間 18/11/15 ~ 19/1/31

### 奥中山アイス I セット

税込 **5,670 円** (本体 5,250 円)

- バニラ 130ml × 2 個
  - ブドウ 130ml × 2 個
  - 洋なし 130ml × 2 個
  - イチゴ 130ml × 2 個
  - コーヒー 130ml × 2 個
  - 抹茶 130ml × 2 個
  - (アレルギー物質) 乳/卵
- お取扱期間 18/11/15 ~ 19/1/31



岩手県の奥中山高原で育ったカナディアンジャージー種の生乳を養分に使った、コクのあるスーパープレミアムな味わいのアイスクリームです。着色料等を使用せず、自然のおいしさにこだわりました。S セットと I セットの 2 種類のセットをご用意しております。

【製造者】奥中山高原農協乳業株式会社 (岩手県二戸郡一戸町)



### 長崎カステラセット 2 本入り

税込 **3,024 円** (本体 2,800 円)

- 牛乳風味 370g × 1 本
  - チーズ風味 370g × 1 本
  - ※ 10 等分カットタイプ
  - (アレルギー物質) 小麦/乳/卵
- お取扱期間 18/11/15 ~ 19/1/31

### 長崎カステラセット 3 本入り

税込 **4,104 円** (本体 3,800 円)

- 牛乳風味 370g × 1 本
  - チーズ風味 370g × 1 本
  - 蜂蜜風味 370g × 1 本
  - ※ 10 等分カットタイプ
  - (アレルギー物質) 小麦/乳/卵
- お取扱期間 18/11/15 ~ 19/1/31

牛乳、チーズをふんだんに使用したカステラはふっくらで、しっとりとしたキメ細やかな生地が特徴です。地域ブランド「長崎カステラ」の認定工場で製造しております。

【製造者】有限会社杉谷本舗 (長崎県諫早市)



### 八ヶ岳野辺山高原 レアチーズケーキギフト 12 個入り

税込 **3,500 円** (本体 3,241 円)

- ブレーン 12 個
  - (アレルギー物質) 乳
- お取扱期間 18/11/15 ~ 19/1/31



コクのあるまろやかな味のレアチーズケーキに仕上げました。風味豊かな高原のさわやかなデザートをお楽しみください。

【販売者】株式会社ヤツレン (長野県南佐久郡)



### 大福とロールケーキ ギフト

税込 **3,456 円** (本体 3,200 円)

- ロールケーキ 264g × 1 本
  - 生クリーム大福 60g × 3 個
  - 抹茶クリーム大福 60g × 3 個
  - (アレルギー物質) 卵/乳/小麦/大豆/ゼラチン
- お取扱期間 18/11/15 ~ 19/1/31



なめらかな餅で生クリーム入りのホイップクリームと粒あんを包み込んだ生クリーム大福と、抹茶風味のなめらかな餅で抹茶風味のホイップクリームと粒あんを包み込んだ抹茶クリーム大福、しっとり食感のスポンジでミルク風味豊かなホイップクリームを巻いたロールケーキを詰め合わせたギフトセットです。

【製造者】大山乳業農業協同組合 (鳥取県東伯郡琴浦町)



### 長崎銘菓セット

税込 **2,700 円** (本体 2,500 円)

- プレミアム・ショコラ 0.3 号
  - 蜂蜜カステラ 0.3 号 (5 カット/本)
  - 長崎どら焼き「花橘」75g × 3 個
  - (アレルギー物質) 卵/小麦/乳/大豆
- お取扱期間 18/11/15 ~ 19/1/31



特選カステラ「プレミアム・ショコラ」は、2018 年モンドセレクション金賞受賞、コクのあるリッチな味わいの逸品です。蜂蜜カステラはふっくら、しっとりとした口あたりで人気のカステラです。長崎どら焼き「花橘」は、ふんわりした生地に北海道産の良質な大豆のまろやかな餡が絶品。美味しい 3 品詰め合わせギフト。

【製造者】有限会社杉谷本舗 (長崎県諫早市)

● 結合せ内容・商品デザイン及び配列についてはお断りなく一部変更する場合があります。● 掲載商品は価格には、配送料が含まれております。● 掲載写真はイメージです。

● 商品は十分に御用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。

# ZENRAKU Winter Gift 2018



## 乳製品 ❄️



### Heart Farm セレクションA

(全酪乳製品セット)

税込 **4,000 円** (本体 3,704 円)

- HF6P チーズ 108g × 2 個
  - HF とろけるスライスチーズ 126g × 1 個
  - HF スライスチーズ 126g × 1 個
  - HF スモークチーズ 120g × 1 個
- 〈アレルギー物質〉乳  
お取扱期間 18/11/15 ~ 19/1/31



### Heart Farm セレクションB

(全酪乳製品セット)

税込 **5,500 円** (本体 5,093 円)

- HF6P チーズ 108g × 2 個
  - HF とろけるスライスチーズ 126g × 2 個
  - HF スライスチーズ 126g × 1 個
  - HF スモークチーズ 120g × 1 個
  - ぬるチーズ 150g × 1 個
  - 酪農家バター 200g × 1 個
- 〈アレルギー物質〉乳  
お取扱期間 18/11/15 ~ 19/1/31



### 東毛酪農 カマンベール3個セット

税込 **2,991 円** (本体 2,770 円)

- カマンベールチーズ 100g × 3 個
- 〈アレルギー物質〉乳  
お取扱期間 18/11/15 ~ 19/1/31



おいしいチーズを作るために厳選した農家の生乳を使い、伝統的な手造りの製法で造られたカマンベールチーズ（ナチュラルチーズ）を熟成した食べ頃の状態まで密封パックしました。パッケージを開けた時が「食べ頃」で、やさしい味わいが楽しめます。[第4回オール・ジャパン・ナチュラルチーズコンテスト]のソフトタイプチーズ部門で優秀賞に輝き、珠玉の逸品です。

【製造者】東毛酪農協同組合（群馬県太田市新田田野井町）

## その他 ❄️



### らくのうマザーズ 阿蘇ミルク牧場セット

税込 **3,980 円** (本体 3,686 円)

- 牧場の想い（カマンベールチーズ）120g × 1 個
  - あそ野プレーン（熟成チーズ）100g × 1 個
  - スライスベーコン 80g × 1 個
  - あか鶏スモークチキン 100g × 1 個
  - バジルソーセージ 150g × 1 個
- 〈アレルギー物質〉乳/豚肉  
お取扱期間 18/11/15 ~ 19/1/31



阿蘇ミルク牧場で飼育している乳牛の搾りたての乳を使用した牧場自慢のチーズと熊本県産ブランド銘柄鶏「あか鶏」を贅沢に使用したこだわりのソーセージ・スモークチキン等の逸品を詰め込みました。

【販売者】らくのうマザーズ 阿蘇ミルク牧場  
(熊本県阿蘇郡西原村)

## 麺 ❄️



### 島原手延うどん あごだしセット(化粧箱入)

税込 **4,000 円** (本体 3,704 円)

- 平造りうどん 1束 50g × 4 × 4袋
  - 手延島原うどん 1束 50g × 4 × 2袋
  - あごだし入りスープ 1袋 10g × 14袋
- 〈アレルギー物質〉小麦/そば/大豆  
お取扱期間 18/11/15 ~ 19/1/31



伝統の手延技術を駆使して造られる「手延平造りうどん」と、ゆで時間を考慮した細造りの「島原うどん」、そしてスープを加えた詰め合わせセットです。つるつるとしてコシのある麺をお楽しみいただけます。

【製造者】株式会社素兵衛屋（長崎県南島原市）



### 全酪ラーメンセット

税込 **4,536 円** (本体 4,200 円)

- 全酪博多ラーメン（とんこつ味 5食、みそ味 5食）10食
  - 博多ラーメン しょうゆ味 10食
- 〈アレルギー物質〉小麦/大豆/牛肉/鶏肉/豚肉/魚介類/ゼラチン  
お取扱期間 18/11/15 ~ 19/1/31



豚がら、鶏がらをじっくり煮込んだコクのある博多とんこつラーメンとみそ風味を生かしたラーメン。各種野菜エキス等をバランスよく調整したキレのあるしょうゆのラーメンセットです。

【製造者】江崎製麺有限公司（福岡県筑後市）



**DLG-42G**

税込 **4,320 円** (本体 4,000 円)

- チーズリヨナー 90g × 1 個
  - フライシュケーゼ 80g × 1 個
  - カントリーロースト 72g × 1 個
  - トマトとオリーブ入りソーセージ 100g × 1 個
  - ペッパーシンケン 72g × 1 個
  - 辛口ポキウインナー 120g × 1 個
- 〈アレルギー物質〉 豚肉/大豆/乳  
お取扱期間 18/11/22 ~ 12/22



**GT-400**

税込 **4,320 円** (本体 4,000 円)

- 熟成糸巻ロースハム 320g × 1 個
  - ばら焼豚 200g × 1 個
- 〈アレルギー物質〉 豚肉/小麦/大豆  
お取扱期間 18/11/22 ~ 12/22



**SP-310**

税込 **3,240 円** (本体 3,000 円)

- ももハム 310g × 1 個
  - ベーコン 280g × 1 個
- 〈アレルギー物質〉 豚肉  
お取扱期間 18/11/22 ~ 12/22



**SP-510**

税込 **5,400 円** (本体 5,000 円)

- 熟成糸巻ロースハム 320g × 1 個
  - ベーコン 280g × 1 個
  - 焼豚 310g × 1 個
- 〈アレルギー物質〉 豚肉/小麦/大豆  
お取扱期間 18/11/22 ~ 12/22



**EG-03**

税込 **5,400 円** (本体 5,000 円)

- 生ハム (ロース) 40g × 2 個
  - 熟成乾塩ベーコン 80g × 1 個
  - ローストポーク 135g × 1 個
  - バーベキューソーセージ 120g × 2 個
  - こんがり焼豚 105g × 1 個
  - スモークロース 92g × 1 個
- 〈アレルギー物質〉 豚肉/小麦/大豆  
お取扱期間 18/11/22 ~ 12/22



一本一本丁寧に糸で巻き風味豊かにスモークしたロースハム、タレに漬けてじっくり焼き上げた風味豊かな焼豚、豚ばら肉をじっくり漬け込み仕上げたベーコンのセットです。

【製造者】 大山ハム株式会社 (鳥取県米子市)



**OC-40**

税込 **3,908 円** (本体 3,619 円)

- 北海道フランク 220g × 1 個
  - 北海道認証ベーコン 80g × 1 個
  - あらびきウインナー 110g × 1 個
  - ハーフウインナー 135g × 1 個
  - 行者にんにくウインナー 120g × 1 個
  - あらびきフランク 200g × 1 個
- 〈アレルギー物質〉 豚肉/乳  
お取扱期間 18/11/15 ~ 19/1/10



**OC-50**

税込 **5,184 円** (本体 4,800 円)

- ペッパーポーク 320g × 1 個
  - 北海道認証ベーコン 300g × 1 個
  - あらびきウインナー 110g × 1 個
  - ガーリックウインナー 110g × 1 個
  - バジリコフランク 240g × 1 個
  - あらびきフランク 200g × 1 個
- 〈アレルギー物質〉 豚肉  
お取扱期間 18/11/15 ~ 19/1/10



おこっぺハムは、冷涼なオホーツクの大地の中で、北海道産の厳選豚肉のみを使用して、「おいしさ」を最大限引き出せるよう独自の塩漬製法によりじっくりと時間と手間をかけて製造しております。主原料は100%道内産の素材を使い、北海道らしさを将来性を兼ね備えた食品に対して認定される「道産食品独自認証制度」の第1号の認証を受け、「品質=おいしさ」にこだわった商品作りをしています。

【製造者】 株式会社オホーツククリーンミート (北海道紋別郡興部町)



**R-051**

税込 **5,940 円** (本体 5,500 円)

- ローストビーフ (国産牛) 200g × 2 個
- 〈アレルギー物質〉 牛肉/乳成分/豚肉/鶏肉/大豆/小麦/りんご  
お取扱期間 18/11/22 ~ 12/22



焙煎胡椒とドイツ産岩塩でシンプルに味付けて国産牛の旨みをそのまま閉じ込めました。国産牛に旨みがじっくり詰まった存在感たっぷりのローストビーフです。

【製造者】 大山ハム株式会社 (鳥取県米子市)

- **本所 酪農部** 〒108-0014 港区芝 4-17-5 相鉄田町ビル 7 F  
TEL 03-5931-8008 FAX 03-5931-8025
- **札幌支所** 〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 7-1 酪農センター  
TEL 011-241-0765 FAX 011-241-0769
- **仙台支所** 〒980-0021 仙台市青葉区中央 1-7-20 東邦ビル 3 F  
TEL 022-221-5381 FAX 022-221-5384

- **名古屋支所** 〒460-0008 名古屋市中区栄 1-16-6 名古屋三蔵ビル 3F  
TEL 052-209-5611 FAX 052-209-5614
- **大阪支所** 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-14-10 新大阪トヨタビル 6 F  
TEL 06-6305-4196 FAX 06-6305-4899
- **福岡支所** 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 1-2-15 事務機ビル 7 F  
TEL 092-432-2121 FAX 092-431-6313

取扱上の注意

1. 配送地区に制限のある場合もありますので、ご確認ください。なお、離島につきましては原則として配達できませんので、予めご了承ください。
2. お申込後のご返品、お取り消し (お届け先様ご不在、ご移転ご転居、受け取り拒否等による) 扱いはいたしませんので予めご承知おきください。
3. お届け先様のご不在における取扱は、配送業者の取扱規定により対応します。
4. 掲載商品の価格には消費税及び配送料が含まれております。
5. 詰合せ内容・商品デザイン及び配列については、お断りなく一部変更する場合があります。
6. 商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。
7. **冷凍 冷蔵** マークの付いている商品はそれぞれ冷凍、冷蔵でのお届けになります。
8. **簡易 全** マークの付いている商品はそれぞれ簡易包装、全包装となります。また、表示のない商品には包装はありません。(簡易包装とは、包装紙を帯状に商品に巻きつけた包装形態のことです。)
9. **普通 短冊** マークの付いている商品はそれぞれ普通サイズ、短冊サイズの熨斗となります。



# 乳牛産地情報

平成30年11月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765  
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232  
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051  
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ▲……強含み ▼……やや強含み →……横這い ⇩……やや弱含み ↓……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	48~58	→	札幌管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計100.1%、累計で100.6%、苫小牧管内月計で97.4%、累計で98.9%の実績となっております。11月の初妊牛動向といたしまして、1月分分娩が中心で動くものと思われま。9月は胆振東部地震により中止となった当地域の乳牛市場ですが、10月は通常より多い出品となったにも関わらず、初妊牛平均価格は大きく上げました。よって、11月の当地域の庭先購買価格も高値で推移するものと思われま。雌雄選別腹や高能力牛も出てくる地域ですが、出回り頭数は少な目ですので、お早目のお問い合わせをお願いします。
	初妊牛	83~93	→	
	経産牛	47~52	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	55~65	⇩	根釧管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で100.6%、累計で100.1%、中標津管内月計で100.0%、累計で99.9%の実績となっております。11月の初妊牛動向といたしまして、2月分娩が中心となります。管内の状況と致しまして、依然として道内の新規就農者の導入やメガ・ギガファームの大型導入が継続しております。管内乳牛市場では出場頭数が多くなっており、初妊牛価格の平均は軟調に推移しているものの、中クラス以上については高値横這いとなっております。育成牛はメガファームの導入が落ち着きを見せた事、雌雄選別精液の普及により資源としては増加の傾向にあり、育成牛価格は軟調に推移しております。初妊牛の資源としては、前年並みに確保出来る状況にあります。
	初妊牛	90~100	→	
	経産牛	60~70	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	50~60	→	帯広管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で103.3%、累計で103.7%の実績となっております。11月の初妊牛動向といたしまして、1~2月の分娩となりF1腹が中心となりますが、雌雄選別腹も確保できる状況となっております。当管内地域の乳牛市場は9月、10月と月2回のペースで開催されていますが、2か月ともに月の前半開催でやや弱含み、後半開催でやや強含みといった動きを見せ、和牛ETや経産牛を除く初妊牛平均価格は税抜き81万円程度となっています。この価格にはスソ物も入っていますので、庭先選畜購買はもう少し上の相場となります。出回り頭数は多くなっており、11月相場は軟調に推移するものと思われま。
	初妊牛	87~97	⇩	
	経産牛	57~67	→	
道北管内	育成牛(10-12月令)	50~60	→	道北管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で98.0%、累計で99.5%、北見管内では月計で101.9%、累計で101.7%の実績となっております。11月の初妊牛動向といたしまして、1~2月分娩が中心となります。乳牛市場への出品頭数は、年末にかけて増えてくる事から、初妊牛価格については、弱含みの展開が予想されます。しかし依然として、上物の牛は引き合いが強いことから80万円後半程度になると思われま。雌雄選別腹、F1腹ともに出回り頭数はありますが、F1腹の牛のほうが引き合い強いので雌雄選別腹に比べ高値の相場が予想されます。
	初妊牛	83~88	⇩	
	経産牛	50~60	→	
道内総括	育成牛(10-12月令)	53~63	⇩	道内の10月中旬までの生乳生産量前年比は101.1%、累計で101.2%の実績となっております。11月の初妊牛動向といたしまして、1月から2月分娩が中心となります。9月に発生した胆振東部地震による大規模停電の影響で乳房炎や生乳廃棄が生じたため、9月単月の道内生乳生産量は301千t(前年比95.4%)と前年を大きく下回りました。震災直後の関係機関による情報では、今年度下期の北海道における生乳生産量について、大幅な減少が懸念されておりましたが、10月単月(中旬まで)の生乳生産量は前年比101.1%と回復してきております。また震災の影響から、販売仕向け搾乳用素牛資源の減少が心配されておりましたが、生乳生産量の回復状況を鑑みますと、搾乳用素牛資源は前年並みに確保できるものと思われま。
	初妊牛	87~97	→	
	経産牛	55~65	→	

## 今月の表紙

今月の表紙は、「第9回酪農いきいきフォトコンテスト」(第47回全国大会にて開催)で応募頂いた作品「ショウシーズンはまだかしら??」(熊本県山下香菜氏 撮影)です。



## 編集後記

- 朝晩冷え込んできています。体調管理には気を付けてください。
- 全国各地で理解醸成活動が開催中です。皆様、ふるってご参加ください。
- 会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです。

[shidoukikaku@zenrakuren.or.jp](mailto:shidoukikaku@zenrakuren.or.jp)

平成30年11月10日発行(毎月1回10日発行)

全酪連会報 11月号 No.638

●編集・発行人 戸辺誠司

●発行 全国酪農協同組合連合会

〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号

TEL 03-5931-8003 <http://www.zenrakuren.or.jp/>

今月の

らくのう

こどもギャラリー

入賞作品紹介



### ぼくを見る牛さん

那須塩原市立青木小学校(関甲信)2年 大森 優希

#### 今月の入賞作品は…

**那須塩原市立青木小学校(関甲信)2年の大森 優希さんの作品です。**

遠景に山々があり、中景にトラクターや牛さんがいて、牧場のひろびろとした空間がうまく表現されています。耳を立てて興味津々にこちらをじっと見つめる牛さんの表情もうまく描けましたね。牛さんと目が合った時の大森さんの驚きが伝わってくる作品です。



※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第45回らくのうこどもギャラリー」で全国833点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議